

1 志望理由

●志望理由を書くための手順を学ぼう

大学の総合型選抜や学校推薦型選抜では、必ずといってよいほど**志望理由**が問われることになります。志望理由は、その大学に進学してどのような勉強をしたいのか、また、それはなぜかについて説明し、**入学したいという熱意や意欲を伝えるもの**です。入試だけでなく、企業の就職試験でも必須の課題ですので、ここで志望理由の書き方をしっかりと身につけておきましょう。

そもそも、志望理由を書く目的は何でしょうか。大学側は、学ぶ意欲のある生徒を求めています。それに応えるために、生徒は志望理由を書いて自らの学ぶ意欲を示すのです。しかし、意欲の有無を確認するだけであれば、面接試験でもできるでしょう。志望理由では、意欲の有無が確認されるだけでなく、自らの学ぶ意欲を客観的・論理的に説明することができるかどうかが見られています。ですから、「どうしても貴学に入学したい」「入学を強く希望する」とばかり繰り返していても、志望理由にはなりません。自分にどれほどの意欲があり、なぜ学びたいのかを、**客観的・論理的に説明し、読み手を納得させる**ことが求められているのです。

書き方としては、小論文と同様、「**序論**」「**本論**」「**結論**」の構成で考えるとわかりやすいでしょう。

序論では、自分の志望する学部・学科(就職の場合は職種)を挙げます。さらに、進学して何を学びたいのかを、簡潔に示しておくといでしょう。本論では、序論で挙げた**学部・学科を志望する理由を2つの観点から説明**します。1つは志望の「**きっかけ**」です。これは、自分自身の経験や周囲の人のアドバイス、本や新聞・テレビのニュースで見聞きしたことなどから具体例を取り上げます。もう1つは、「**進学して学びたいこと**」を具体的に説明します。その学校の特長を示すことが重要です。結論は、大学で学んだことを将来どのように生かしたいのかを述べます。**将来の展望を示してまとめることがポイント**です。



志望理由を書くための手順

手順1

志望する学部・学科(就職の場合は職種)を示す

学部・学科だけでなく、具体的に何を学びたいかを簡潔に示します。

ただ「貴学(貴校)を志望する」というだけでは、大学の知名度やイメージに引かれて志望したと出題者に受け取られかねません。そのような誤解を受けないためにも、具体的にどのような勉強をしたいのかを、ここで簡潔に示しておきましょう。

手順2

志望する理由「きっかけ」を挙げる

具体的な事例を取り上げます。事例を通して志望するまでの過程を示すと、意欲が明確に伝わります。

「具体的な事例」とは、自分自身の経験や周囲の人から受けたアドバイス、本を読んで感じたこと、テレビや新聞で報道されるニュースを見て考えたことなどです。出来事を順に書いていくのではなく、志望するきっかけとなったことにポイントを絞り、志望するまでの過程が読み手に伝わるようにまとめましょう。

手順3

志望する理由「進学して学びたいこと(就職の場合は志望先を選んだ理由)」を説明する

志望する学校で、何を学びたいのかを説明します。学校の特長を具体的に挙げ、自分が学びたいことがこの学校にあるということを述べると説得力が増すでしょう。

志望先について、他の学校とは異なる特長を調べておくことが重要です。ホームページやオープンキャンパスなども利用して、学部・学科の講義や教授はもちろん、施設や設備、環境、卒業生、就職先など幅広く調べてみるとよいでしょう。それらの内容と自分が学びたいことを結びつけ、自分の学ぶ場所がその学校でなければならない理由を説明しましょう。

手順4

将来の展望を述べる

学んだことを将来どのように生かしていくか、将来就きたいと思っている仕事にどのような関連があるかなどを述べて、全体をまとめます。

学んだことを生かして○○の職業に就きたい、△△として社会に貢献したいなど、学んだことと将来の展望を結びつけてまとめるようにしましょう。将来就きたい職業が決まっていない場合は、現代社会においてどのような問題が起きているのか、自分が学びたいことがその問題解決にどう結びつくのかを考えてみるとよいでしょう。